

ノイズキャンセリング機能を使う

ウォークマンのノイズキャンセリング機能を有効にすると、周囲の騒音を低減することができます。ノイズキャンセリング機能を使うには、ノイズキャンセリング機能対応のヘッドホンが必要です。お使いのウォークマンに対応しているノイズキャンセリング機能対応のヘッドホンは、IER-NW500N (NW-A45HN/A46HNのみ同梱)またはMDR-NW750N/MDR-NC31/MDR-NWNC33（別売）です。

ヘッドホンを選択する

- 対象のヘッドホンをウォークマンに接続する。
- 🔊（オプション/設定）➡️🔊[設定] ➡️ [ヘッドホン]のプルダウンメニューから接続しているヘッドホンを選ぶ。

ご注意

- 対象のノイズキャンセリング機能対応ヘッドホン以外を使っている場合は、ノイズキャンセリング機能は働きません。

ノイズキャンセリング機能を使う

- 🔊（オプション/設定）➡️🔊[設定] ➡️🔊（ノイズキャンセル）をタップする。

ヒント

- 🔊（オプション/設定）➡️🔊[設定] ➡️ [ヘッドホン]の[ノイズキャンセル]をタップし、ノイズキャンセリング設定画面でオン/オフ切り替えることもできます。また、周囲の環境を選択したり、ノイズキャンセリング効果を調整することもできます。
- バスや電車で音楽などを聞いていると、音が途切れる（音飛びする）ことがあります。仕組み上発生するもので、不具合ではありません。この現象は、ノイズキャンセリング設定画面でノイズキャンセリング効果の値を調整することで改善されます。

ご注意

- ノイズキャンセリング機能が有効なときは、かすかにサーという音がありますが、ノイズキャンセリング機能の動作音で、故障ではありません。
- 静かな場所や、ノイズの種類によっては、ノイズキャンセリング効果が感じられない、またはノイズが大きくなると感じる場合があります。その場合は、ノイズキャンセリング機能をオフしてください。

音楽再生中に周囲の音を聞く（外音取り込み機能）

外音取り込み機能とは、外音取り込み機能対応のヘッドホンに内蔵されているマイクにより、周囲の音を聞き取りやすくする機能です。周囲の音を確認しながら音楽を楽しむことができます。お使いのウォークマンに対応している外音取り込み機能対応のヘッドホンは、IER-NW500N (NW-A45HN/A46HNのみ同梱)です。

外音取り込み機能に関するご注意

- 外音取り込み機能は周囲の音を聞き取りやすくする機能です。しかしながら、すべての音を聞き取れるようにする機能ではありません。周囲の状況、ウォークマンで再生中の音の種類や音量によって、周囲の音が聞き取れない場合があります。周囲の音が聞こえないと危険な場所（車や自転車などの通る道など）では、安全に充分に注意してご使用ください。
- イヤークーピーが耳にフィットしていない状態で使用すると、外音取り込み機能が正常に動作しない場合があります。耳に最もフィットするサイズのイヤークーピーでしっかりと装着してご使用ください。

ヘッドホンを選択する

- 対象のヘッドホンをウォークマンに接続する。
- 🔊（オプション/設定）➡️🔊[設定] ➡️ [ヘッドホン]のプルダウンメニューから[IER-NW500N/NE]を選ぶ。

ご注意

- 対象の外音取り込み機能対応ヘッドホン以外を使っている場合は、外音取り込み機能は働きません。

外音取り込み機能を使う

- 🔊（オプション/設定）➡️🔊[設定] ➡️🔊（外音取り込み）をタップする。

ヒント

- 🔊（オプション/設定）➡️🔊[設定] ➡️ [ヘッドホン]の[外音取り込み機能]をタップし、外音取り込み設定画面でオン/オフ切り替えしたり、取り込みレベルを調整することもできます。

ご注意

- 周囲の音が聞き取れない場合は、外音取り込み設定画面で取り込みレベルの値を調整することで改善されることがあります。
- 外音取り込み機能に対応していないヘッドホンを使用すると、ピーという音（ハウリング）が出ることがあります。また、マイク部🔊（T）を手などで覆ったりヘッドホンを手で握ったりすると、外音取り込み機能の効果が得られなかったり、ハウリングがたたりることがあります。

- 周囲の状況（周囲の音の大きさなど）によっては、外音取り込み機能が一瞬オフになる場合がありますが、不具合ではありません。外音取り込み設定画面で取り込みレベルの値を調整することで改善されることがあります。
- ヘッドホンをウォークマンから取り外すときは、必ず外音取り込み機能をオフにしてから取り外してください。

曲を削除する

パソコンから転送した曲やパソコンを使わずに直接録音した曲は、ウォークマンで削除することができます。

- ライブラリー画面から削除したい曲を表示する。
- 削除したい曲のコンテキストメニューボタン ➡️ [削除] ➡️ [OK]をタップする。



ヒント

- フォルダー内のすべての曲をフォルダーごと削除したい場合は、ライブラリー画面を左にフリックして🗑️ [フォルダー]をタップし、削除したいフォルダーのコンテキストメニューボタンから削除してください。
- パソコンでMusic Center for PCやエクスプローラー、またはContent Transferやファイnderを使ってウォークマンの曲を削除できます。アプリケーションの操作方法は、各アプリケーションのヘルプをご覧ください。

語学学習に便利な機能を使う

語学学習モードでは、再生速度を調整したり（DPC：Digital Pitch Control）、聞き逃した部分を再度聞いたり（クイックリプレイ）、再生中の音声の任意の区間を繰り返し再生できる（A-Bリピート）など、語学学習に適した機能を使うことができます。語学学習コンテンツを再生するときは、語学学習再生画面で操作します。

語学学習機能を使ってコンテンツを再生するには、パソコンでコンテンツをウォークマンの[LEARNING]フォルダーに転送する必要があります。詳しくは、「ヘルプガイド」をご覧ください。

- ライブラリー画面で、🎧（語学学習）ボタンをタップする。語学学習ライブラリー画面が表示されます。



同じところを繰り返し再生するには

再生中の音声の任意の区間を繰り返し再生できます（A-Bリピート）。

- 再生中に、A-Bリピートを開始したいタイミングで⏮️Aをタップする。A点（A-Bリピートの開始点）が表示されます。A点から曲の終わりまでの区間が繰り返し再生されます。
- A-Bリピートの終了点に設定したいタイミングで⏭️Bをタップする。B点（A-Bリピートの終了点）が表示されます。A点からB点までの区間が繰り返し再生されます。A点とB点の間は最低1秒間の間隔を空けてください。

ヒント

- A-Bリピート中は、一時停止/再生再開、早送り/早戻し、クイックリプレイの操作を通常と同様に行えます。
- A点に戻るには、🔊（曲戻し）をタップします。
- A-Bリピートを解除するには、⏮️ B⏭️の右側に表示されるⓧをタップします。
- 🔊（曲送り）をタップすると、A-Bリピートは解除され、次のコンテンツの再生が始まります。
- 音楽再生と語学学習のライブラリー間で曲を移動することができます。音楽コンテンツを語学学習ライブラリーに移動したい場合は、移動したい曲の再生画面で、🔊（オプション/設定）➡️🎧語学学習へ曲を移動。➡️ [OK]をタップしてください。アルバムごと移動したい場合は、ライブラリー画面からアルバムを表示し、コンテキストメニューから移動してください。
- 音楽コンテンツの再生モードに戻るには、語学学習ライブラリー画面の左上の🏠をタップしてください。

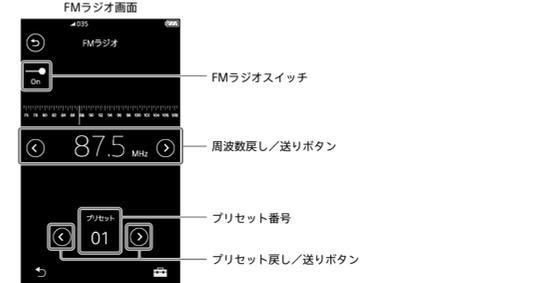
FMラジオを聞く

ウォークマンでは、FMラジオ放送を楽しめます。接続したヘッドホンのコードがアンテナとして働きます。コードをできるだけ長く伸ばしてお使いください。

- ヘッドホンをウォークマンに接続する。
- ライブラリー画面で、📻（FMラジオ）ボタンをタップする。FMラジオ画面に切り替わり、FMラジオスイッチが自動的にOnになります。



- 周波数戻し/送りボタンで周波数を選ぶか、プリセット戻し/送りボタンでプリセット番号を選ぶ。



ヒント

- 放送局がプリセット登録されていないときは、プリセット番号で選局できません。受信可能な放送局をオートプリセット機能で自動登録するか、または手動で登録してください。
- 音楽コンテンツの再生モードに戻るには、画面左上の🏠をタップしてください。

自動で放送局を登録する

[オートプリセット]を実行すると、お使いの地域で受信できる放送局を自動的に探してプリセット登録できます（最大30局まで）。

- FMラジオ画面で、🔊（オプション/設定） ➡️ [オートプリセット] ➡️ [OK]をタップする。受信可能な低い周波数の放送局から順番にプリセット登録されます。

ご注意

- FMラジオの使用中にヘッドホンを抜くと、FMラジオスイッチは自動的にOffになります。再度ヘッドホンを接続しても、自動的にOnにはなりません。再度FMラジオを使うには、ヘッドホンを接続してからFMラジオスイッチをタップしてください。
- IER-NW500N（NW-A45HN/A46HNのみ同梱）またはMDR-NW750N/MDR-NC31/MDR-NWNC33（別売）以外のヘッドホンを使用すると、受信状態が悪くなる場合があります。
- 別売のスピーカーに接続中はFMラジオを聞けません。スピーカーからウォークマンを取り外し、ヘッドホンをつないでお聞かせください。
- Bluetooth接続中は、FMラジオを聞けません。Bluetooth接続を切断し、ヘッドホンをつないでお聞かせください。
- [オートプリセット]を実行すると、それまで登録されていたプリセットはすべて消去されます。
- FMラジオ使用中は、外音取り込み機能は無効になります。

ワイヤレスで音楽を楽しむ

Bluetooth® オーディオ機器で音声を聞く

Bluetoothオーディオ機器とウォークマンを接続し、ウォークマンの音声をワイヤレスで聞くことができます。

機器登録（ペアリング）する

Bluetoothオーディオ機器同士をはじめワイヤレス接続するときは、お互いの機器を登録しあう必要があります。この登録のことを「ペアリング」といいます。

- 接続するBluetoothオーディオ機器をペアリングモードにする。ウォークマンを1m以内に置いてください。
- 🔊（オプション/設定）➡️🔊[設定] ➡️ [Bluetooth]の[オーディオ機器接続/登録]をタップする。オーディオ機器接続/登録画面が表示されます。
- [オーディオ機器接続/登録]を[オン]にし、[機器登録（ペアリング）]をタップする。ペアリング可能なBluetoothオーディオ機器の検索が始まり、該当する機器の機種名が表示されます。
- ペアリングしたいBluetoothオーディオ機器を選ぶ。ペアリングが完了すると接続完了のメッセージが表示されます。
- ウォークマンで再生する。Bluetoothオーディオ機器で音声を聞くことができます。

ご注意

- 次のような場合は、機器登録（ペアリング）の情報が消えます。再度ペアリングしてください。
 - どちらかの機器、または両方の機器を、設定初期化などでお買い上げ時の状態に戻してしまった場合。
 - 修理を行ったなど、機器登録（ペアリング）の情報が削除されてしまった場合。
 - ウォークマンと接続するBluetoothオーディオ機器や通信環境、周囲の状況によっては、雑音が入ったり、音が途切れたりすることがあります。
 - Bluetooth無線技術では約10 mまでの距離で接続できますが、障害物（人体、金属、壁など）や電波状態によって、接続有効範囲は変動します。
 - ウォークマンはBluetoothプロファイルとして、A2DP（Advanced Audio Distribution Profile）とAVRCP（Audio/Video Remote Control Profile）に対応しています。接続するBluetoothオーディオ機器のプロファイルが、A2DPに対応している必要があります。AVRCPに対応したBluetoothヘッドホンなどからウォークマンの基本操作を行うことができます。
 - ペアリングの接続処理中に「バスキー」の入力画面が表示されたら、接続するBluetoothオーディオ機器のバスキーを確認し、入力してください。

*1 バスキーは、パスワード、PINコード、PINナンバー、パスワードなどと呼ばれる場合があります。ウォークマンのバスキーは「0000」です。Bluetoothオーディオ機器のバスキーについては、お使いの機器の取扱説明書をご覧ください。

ヒント

- 一度にペアリングできるのはひとつのBluetoothオーディオ機器のみです。複数の機器をペアリングするには、それぞれの機器を手順から行ってください。
- 同じBluetoothオーディオ機器の名前が表示されたときは、ペアリングしたい機器のBDアドレスを確認してください。BDアドレスについては、お使いのBluetoothオーディオ機器の取扱説明書をご覧ください。
- Bluetooth接続のオン/オフは、🔊（オプション/設定）➡️🔊[設定] ➡️📶（Bluetoothオーディオ）をタップして切り替えることもできます。

Bluetooth接続を切断する

- 🔊（オプション/設定）➡️🔊[設定] ➡️ [Bluetooth]の[オーディオ機器接続/登録]をタップする。
- 登録済み機器リストから切断するBluetoothオーディオ機器名を選び、[OK]をタップする。

Bluetoothヘッドホンとヘッドホンを切り替えるには

Bluetooth接続中は、ヘッドホン端子に接続したヘッドホンから音は出ません。ヘッドホンを使うときはBluetooth接続を切断してください。

ワンタッチ（NFC）で接続する

接続したいNFC機能搭載Bluetoothオーディオ機器にウォークマンをタッチすると、ペアリングとBluetooth接続が行われます。

- Bluetoothオーディオ機器にNFCスイッチがある場合は、NFCスイッチをオンにする。
- ウォークマンをBluetoothオーディオ機器にタッチする。ウォークマンのNマーク部分を、Bluetoothオーディオ機器のNマーク部分にタッチします。ウォークマンの画面に指示が出るまでタッチし続けてください。
- 画面の指示に従って接続を完了する。

ヒント

- 接続を解除するには、もう一度タッチします。
- 接続がうまくいかないときは次のことを行ってください。
 - ウォークマンをBluetoothオーディオ機器のNマーク部分の上でゆっくり動かす。
 - ウォークマンにケースを付けている場合は、ケースを外す。

ご注意

- 画面が消えている時は接続できません。画面を表示してからタッチして接続してください。
- FMラジオ放送を聞いているときは接続できません。
- オーディオ機器などからの録音中は接続できません。
- USB-DAC機能使用中は接続できません。

パソコン内の曲を転送せずウォークマンの音質で楽しむ（USB-DAC機能）

パソコンとウォークマンを接続し、パソコンの音楽をウォークマンの音質で聞くことができます。ウォークマン推奨のUSB-DAC機能対応のアプリケーションは以下の通りです。Windows：Music Center for PC
Mac：Hi-Res Audio Player for Mac



- パソコンにUSB-DAC機能対応アプリケーションをインストールする。Windows：Music Center for PCをインストールしてください。詳しくは、別紙「ウォークマンに音楽を転送/録音する」をご覧ください。また、あわせてドライバソフトウェア「Sony USB Device Driver」をインストールする必要があります。詳しくはウォークマンのサポートページをご覧ください。Mac：ウォークマンのサポートページからHi-Res Audio Playerをインストールしてください。

- パソコンでUSB-DAC機能関連の設定をする。設定方法については、以下をご覧ください。Windows：Music Center for PCのヘルプ
Mac：ウォークマンのサポートページのHi-Res Audio Playerのヘルプ
- ウォークマンのライブラリー画面で、🔊（USB-DAC）ボタンをタップする。
- メッセージが表示されたら、[OK]をタップする。
- 同梱のUSBケーブルを使って、ウォークマンをパソコンに接続する。[USB DAC]画面で、音量を調整してください。

ヒント

- パソコンから充電させたくない場合は、🔊（オプション/設定）➡️🔊[設定]➡️[機能設定]の[USB DAC設定]をタップして、[接続機器から本機へ充電する]のチェックボックスを外してください。
- USB-DAC機能を終了するには、[USB DAC]画面左上の🏠をタップしてください。

ご注意

- USB-DAC機能使用中は、外音取り込み機能およびノイズキャンセリング機能は無効になります。
- USB-DAC機能使用中は、ウォークマンの音声をワイヤレスで聞くことはできません。

困ったときは

Q ウォークマンに水や汗などがかかって動作しなくなった。

- 電気回路がショートしないように電源が切れた状態のまま、水気がなくなるまで充分に自然乾燥してから電源を入れてください。復旧できない場合はソニーの相談窓口にお問い合わせください。

- Q ウォークマンの電源が入らない。
 - 長期間使用していない場合などは、バッテリーが空の可能性あります。満充電になるまで充電してください。
- Q パソコンに認識されない。
 - バッテリーが空の可能性あります。10分以上充電してください。
 - 接触不良の可能性あります。USBケーブルを抜き差ししてください。
 - 上記でも認識しない場合は、パソコンの電源を完全に切り、ウォークマンを取り外します。パソコンの電源ケーブルやバッテリーなどを外し、5分間の放電を行います。パソコンの電源を入れて起動します。

- Q 電池がすぐになくなる。
 - 充電が不十分の可能性あります。パソコンがスタンバイ（スリープ）、休止状態の場合は充電できません。起動した状態を維持して充電してください。
 - ウォークマンの設定で無駄な電池消費がされている可能性があります。ウォークマンの設定と電池持続時間については、別紙「使用上のご注意/主な仕様」をご覧ください。
 - ウォークマンを使用しないときは電源をオフにすることで電池の消費を抑えることができます。🔊（オプション/設定）➡️🔊[設定] ➡️ [基本設定]の[本体設定] ➡️ [自動電源オフ設定]をタップして、一定時間後に自動的に電源が切れるように設定できます。
 - 充電を繰り返すと電池の特性上劣化が発生します。使える時間がお買い上げ時の半分くらいになる充電可能な回数の目安は、約500回です。ソニーの相談窓口にお問い合わせください（別紙「使用上のご注意/主な仕様」参照）。

- Q 画面が表示されているが動作しない。
 - パソコンから一度に多数の音楽などのコンテンツを転送した場合は、データベースの更新に時間がかかります。数十分程度時間がかかる場合があります。
 - 操作しても反応しない場合は、🔊（電源）ボタンを8秒長押しして、ウォークマンをリスタート（再起動）してください。

- Q タッチパネルが正常に動作しない。
 - 画面操作する指以外の指が画面に触れている可能性があります。操作したい場所以外に指が触れていると、正しく操作できません。操作する指以外の指が画面に触れないようにしてください。

Q 画面が表示されているがタッチパネル操作ができない。

- 🔊（オプション/設定）➡️🔊[設定] ➡️ [基本設定]の[本体設定] ➡️ [ホールド中はタッチ操作を無効にする]のチェックボックスにチェックが入っている可能性があります。HOLDスイッチを矢印➡️と逆の方向にスライドして、HOLD（ホールド）状態を解除してください。
- HOLD（ホールド）状態でタッチパネル操作を有効にするには、🔊（オプション/設定）➡️🔊[設定] ➡️ [基本設定]の[本体設定] ➡️ [ホールド中はタッチ操作を無効にする]のチェックを外してください。

Q 曲が転送順に表示されない。

Q 曲は転送順には表示されません。決まった曲順通りに再生したい場合は、パソコンを使ってプレイリストを作成し、ウォークマンに転送するか、ウォークマンのプレイリスト機能をお使いください。

Q FMラジオスイッチを[On]にできない。

- ヘッドホンをウォークマンに接続していないと、FMラジオスイッチを[On]にすることはできません。

Q FMラジオのノイズが大きい。

- ヘッドホンのコードがアンテナとして働きます。できるだけ長く伸ばしてお使いください。
- 電波が弱い、または雑音の原因となる携帯電話などが近くにある可能性があります。

Q 同じアルバム内に、同じ曲が2つ以上ずつ表示されている。

- 本体メモリーとmicroSDカードの両方に同じアルバムまたは曲を転送している可能性があります。どちらかのアルバムまたは曲を削除してください。

Q 再生したい曲が、本体メモリーとSDカードのどちらに入っているか確認したい。

- 確認したい曲の再生画面で、🔊（オプション/設定）➡️📄[曲の詳細情報]をタップして、保存先を確認してください。
- 確認したい曲のライブラリーリスト画面や再生リスト画面のコンテキストメニューから、[曲の詳細情報]をタップして、保存先を確認してください。

Q ウォークマンでmicroSDカードを認識しない。

- ウォークマンで認識できない形式でフォーマットされている可能性があります。microSDカード内のすべてのデータをパソコンにバックアップし、microSDカードをウォークマン上で初期化（フォーマット）してください。

ウォークマンの本体メモリーを初期化（フォーマット）するには

下記の手順に従って必ずウォークマン上で行ってください。初期化すると記録されたデータはすべて消去されますので、初期化する前に内容を確認してください。

- 🔊（オプション/設定）➡️🔊[設定] ➡️ [基本設定]の[本体設定] ➡️ [各種初期化] ➡️ [本体メモリー初期化] ➡️ [はい] ➡️ [はい]の順にタップする。初期化が始まります。

使いかた（ヘルプガイド）とサポート情報を調べる

インターネットに接続できる環境の場合、ウォークマンのサポートページ（http://www.sony.jp/support/walkman/）で以下の情報を得ることができます。

サポートページの主な情報

- 使いかた（ヘルプガイド）
 - 本体、Music Center for PCの使いかたなど
- 困ったときは（Q&A）
- 接続情報・対応表
- ダウンロード
 - Music Center for PC、本体ソフトウェアアップデートなど
- お問い合わせ
- 最新のお知らせ